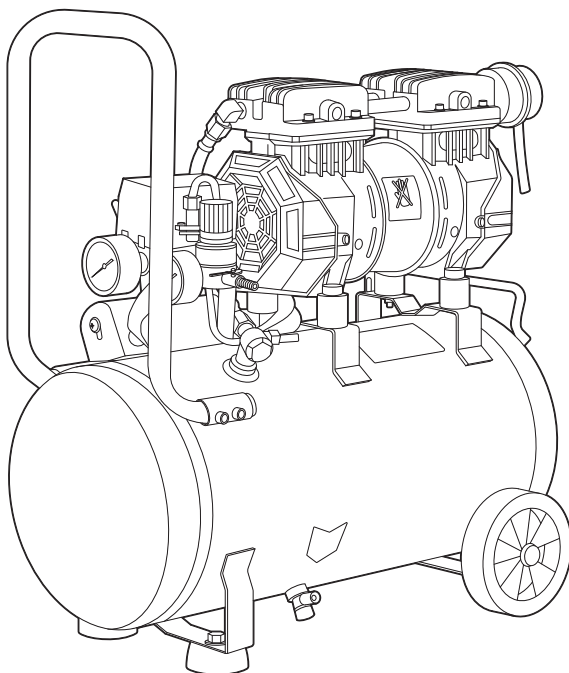


AP041015

サイレントエアコンプレッサー 24L SC015

取扱説明書



アストロプロダクツ製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前に必ず、この取扱説明書を最後までお読みになり、正しくご使用ください。

また、この取扱説明書は、いつでも見ることができるよう保管してください。

実際の商品と、取扱説明書内の図では、色や形状が異なる場合がありますので、ご了承ください。


目次

1.	はじめに.....	3
2.	取扱説明書について.....	3
3.	製品安全上のご注意.....	4
	▲危険.....	4
	▲警告.....	6
4.	製品使用上のご注意.....	7
	▲危険.....	7
	▲警告.....	9
	▲注意.....	11
5.	製品仕様.....	13
6.	製品特徴.....	13
7.	各部名称.....	14
8.	各部説明.....	15
9.	使用前準備.....	18
10.	使用方法.....	22
11.	メンテナンス.....	25
12.	トラブルシューティング.....	27
13.	保管.....	28
14.	廃棄について.....	28
15.	個人情報の取り扱い.....	28
16.	製品保証規定.....	29
17.	修理規定.....	29
18.	お問い合わせ先.....	30
	■カスタマーサービス.....	30
	■販売元.....	30




1.はじめに

- 使用前に、取扱説明書をよく読み、安全に正しく使用してください。
- 安全上の注意や商品仕様などは、予告なく変更される場合があります。そのため、購入された商品と、取扱説明書に記載された内容が、一部異なる場合がありますので、ご了承ください。
- 本製品は、圧縮空気を作る機械です。作り出した圧縮空気は、空圧工具の動力に用いることができます。本来の用途以外に使用しないでください。

2.取扱説明書について

- 当社の許可なく、取扱説明書の内容全部または一部を複製および改修し、無断で転載することは、禁止されています。
- 取扱説明書および本体に貼り付けられた重要ラベルの安全に関わる項目には「」マークを使用しています。製品を安全に使用し、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐためのものなので、必ず守ってください。
- 取扱説明書をなくしたり、重要ラベルを汚したりせずに、使用者が任意に読むことができるよう、大切に保管してください。
- 危険、警告および注意事項の意に反して、安全義務を怠り、規定外の使用による機器の破損やケガなどに関しては、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

安全に関する表示について

表示	意味
 危険	この表示を無視し、誤った使い方をすると、「使用者が死亡または重傷を負う危険な状態を切迫して生じさせることが想定される」内容のご注意。
 警告	この表示を無視し、誤った使い方をすると、「使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される」内容のご注意。
 注意	この表示を無視し、誤った使い方をすると、「使用者が傷害を負うまたは物的損害を負う危険が想定される」内容のご注意。

注意マーク



注意すること

禁止マーク



してはいけないこと

指示マーク



必ず行うこと

3.製品安全上のご注意

⚠ 危険



- 作業に集中すると、周囲への安全確認が疎かになり、事故を招く恐れがあります。
 - ・ 作業手順や周囲の状況などをよく確認してください。
- 正しい位置で保持し、無理な姿勢では、使用しないでください。
 - ・ ケガや事故の原因となります。
- 本製品は、自動車整備士資格を有する方および本製品の使用に関する十分な知識をお持ちで、作業経験豊富な方を対象に作られています。
 - ・ 使用方法が不明で、作業経験のない方が使用すると、ケガや事故の原因となります。
- 本製品は、圧縮空気を作る機械です。作り出した圧縮空気は、空圧工具の動力に用いることができます。
 - ・ 本来の用途以外で使用すると、ケガや事故の原因となります。



- 製品に貼られたラベルを汚したり、剥がしたりしないでください。
 - ・ 誤った使い方をすると恐れがあり、ケガや事故の原因となります。
- 過労と思われるときや飲酒しているとき、薬物を服用しているときに、使用しないでください。
 - ・ 判断力が鈍り、事故の原因となります。
- 子供や妊娠中の方は、絶対に本製品を使用しないでください。
 - ・ ケガや事故の原因となります。
- 周辺温度が40℃以上になる高温な場所や直射日光下では、使用しないでください。
 - ・ 高温による脱水症状や熱中症になる恐れがあります。休憩をこまめに行い、十分な水分補給をしてください。
- 次の作業環境下では、使用しないでください。
 - ・ 火気のそばや急激に温度上昇する場所
 - ・ 揮発性の高い溶剤などがある場所
 - ・ 通気が悪く、換気のできない場所
 - ・ 暴風雨、降雪、強風、雷などの悪天候時
 - ・ 水がかかる恐れがある場所、多湿、水中や海中
 - ・ 足元が滑りやすく、不安定な場所
 - ・ 急傾斜など、転倒の恐れがある場所

3.製品安全上のご注意

▲危険



禁止

- 使用者以外、使用場所や保管場所に近づけないでください。
 - ・ 特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。
- 以下の服装は、周囲に引っ掛かるまたは巻き込まれるなど、ケガや事故の原因となりますので、そのままの状態や着用することはおやめください。
 - ・ 長髪を束ねずに、そのままの状態にしている。
 - ・ 首にマフラーやタオルを巻いている、ネックレスなどの装飾具やネクタイを着用している。
 - ・ サイズが極端に大きい服装、だぶだぶな衣類を着用している。



分解禁止

- 修理技術者以外の方は、本取扱説明書に記載されていない、本体の分解、修理、改造はしないでください。
 - ・ 異常作動や過熱、発火、感電など、事故の原因となります。



指示

- 必ず取扱説明書を熟読し、本製品の使用方法をよく理解してから、使用してください。
 - ・ 使用方法が少しでも不明な場合は、使用せずにお買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。
 - ・ 誤った使用方法によって生じた、商品破損、人体への損傷、物品への損害、その他のいかなる損害に対しても、当社では一切の保証および責務を負いかねますので、ご了承ください。
- 安全に正しく使用するため、警告事項を理解し、厳守してください。
 - ・ 警告事項を無視して使用すると、死亡や重傷、傷害など、重大な事故の原因となります。
- 本製品を他人に貸すときは、必ず取扱説明書も一緒に渡してください。
 - ・ 誤った使い方をする恐れがあり、ケガや事故の原因となります。
- 安全に正しく使用するため、使用環境に合わせて、以下の保護具を着用してください。
 - ・ 安全手袋、耳栓やイヤーマフ、保護メガネ、防塵マスク、安全帽、安全靴、作業ツナギや長袖、長ズボン
- 本製品は、大切に取り扱いってください。
 - ・ 落下などによって、強い衝撃が加わった場合は、必ず各部に異常がないか点検してください。
- 使用前や定期的に、各部に異常、不具合、損傷、破損がないか点検してください。
 - ・ 異常や不具合、損傷、破損がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。

3.製品安全上のご注意

⚠警告



注意

- 製品改良のため、主要機能および形状などは、予告なく変更する場合があります。
 - ・購入製品と改良品は、性能などが異なる場合がありますので、予めご了承ください。
- 高温、多湿、結露する場所、塵やホコリがあり清掃されていない場所に保管すると、本体故障の原因となります。
 - ・常温で清潔な場所に保管してください。



禁止

- 損傷がある場合は、保管しないでください。
 - ・損傷がある製品を誤って使用してしまう恐れがあり、ケガや事故の原因となります。



指示

- 使用しないときは、施錠のできる屋内に保管してください。
 - ・思わぬ事故の原因となります。特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。

4.製品使用上のご注意

⚠ 危険



禁止

- 圧縮空気には、小さな塵などの不純物や水分が含まれています。人の呼吸用、ペット水槽の送気用など、人や動物には、絶対に使用しないでください。
 - ・ 重傷、死亡など、重大な事故の原因となります。
- ガソリン、軽油、灯油などの燃料、シンナーなどの可燃性、揮発性の高い液体がある場所に、設置しないでください。
 - ・ 発火や火災、爆発など、重大な事故の原因となります。
- 揮発性ガス、引火性ガス（アセチレン、プロパンガスなど）、可燃性ガス、腐食性ガスが発生している場所やガスが入っている容器のそばに設置しないでください。
 - ・ 発火や火災、爆発など、重大な事故の原因となります。
- ガス管には、絶対にアースしないでください。
 - ・ 爆発の恐れがあり、大変危険です。

⚠ 警告



注意

- 設置環境温度は、0℃～40℃です。
 - ・ 0℃以下になると、作動不良や凍結の原因となり、40℃を超えると、圧縮機の焼き付きや火災など、事故の原因となります。
- エア配管システムへの接続やエアコンプレッサーの選定は、自動車整備士資格を有する方または本製品使用に関する十分な知識をお持ちの方で、作業経験豊富な方が行ってください。
 - ・ 圧縮空気の取り扱いを誤ると、ケガや事故の原因となります。
- 作動中や使用後は、モーター、吐出管は、大変高温になります。
 - ・ ヤケドをする恐れがあるので、冷めるまでは触れないでください。



禁止

- 本製品は、AC100V専用です。直流電源や発電機、他の電圧では使用しないでください。
 - ・ 作動不良や本体故障だけでなく、発熱、発火、火災など、事故の原因となります。
- 柔らかく軟弱な床面、凹凸のある床面、傾斜のある床面などに設置しないでください。
 - ・ 横転や沈む恐れがあり、ケガや事故の原因となります。

4.製品使用上のご注意

⚠警告



- 使用上障害となり、整理整頓されていない場所で、使用しないでください。
 - ・本体故障や横転などによってケガや事故の原因となります。
- 風通しが悪く、換気のできない場所に設置しないでください。
 - ・本体温度上昇に伴う性能低下や本体故障、圧縮機の焼き付き、火災の原因となります。
- 塵やホコリ、粉塵が多くある場所に設置しないでください。
 - ・エアクリーナーの詰まりや性能低下、本体故障、圧縮機の焼き付き、火災の原因となります。
- 起動時は、定格電流の約4倍の電流が瞬間的に流れるので、AC100Vコンセント以外の電源では、使用しないでください。
 - ・発電機を電源とした場合、低電圧となり、モーターおよびコンデンサーの焼損や発熱、発火、火災の原因となります。
- 暖房器具や温度上昇する機器のそば、直射日光下で、使用しないでください。
 - ・本体温度上昇に伴う性能低下や本体故障、圧縮機の焼き付き、火災の原因となります。
- 本製品は、屋内専用です。屋外での使用はやめてください。
 - ・屋外での使用は、本体性能の低下や本体故障、発熱、発火、火災などの原因となります。
- 防滴、防水仕様ではありません。水中や水の掛かる恐れのある場所で使用しないでください。
 - ・本体故障や漏電、感電などの原因となります。
- 通気口の周辺に、ものを置いて塞ぐ、布などで覆うようなことはしないでください。
 - ・本体温度が上昇し、発熱や発火、火災など、事故の原因となります。
- 通気口にピンや針金などの金属物を絶対に入れないでください。
 - ・本体故障や短絡、漏電、感電などの原因となります。
- 本製品の最高圧力、安全弁の設定圧力は、絶対に変更しないでください。
 - ・圧力の変更は、本体故障や破損などの原因となります。
- 安全弁の作動時は、勢いよく圧縮空気が吹き出し、大きな音を伴いますので、近づかないでください。
 - ・顔などを近づけると、ケガや事故の原因となります。

4.製品使用上のご注意

⚠警告



禁止

- 以下の行為は止めてください。電源コードが断線し、漏電や感電、火災などの原因となります。
 - ・無理に曲げる、束ねる、ものを載せた状態で使用する
 - ・熱、油、角の尖った場所に近づける
 - ・被覆の破れなどの損傷があるまま使用する
 - ・電源コードおよび電源プラグを加工する
 - ・電源コードを持って移動させる
 - ・電源コードを引っ張って電源プラグをAC100Vコンセントから抜く
 - ・電源コードを振り回す
- 電源コードを複数か所で束ねないでください。8の字にした真ん中をバンドで軽く束ねてください。
 - ・断線や漏電、感電、火災などの原因となります。
- エアソケット、エアプラグ、エアホースを加工しないでください。
 - ・エアツールの作動不良や本体故障などの原因となります。
- エアホースを無理に曲げる、束ねる、ものを載せた状態で使用しないでください。
 - ・圧縮空気が遮断され、エアツールの作動不良やエアホースの破裂などの原因となります。
- エアホースを振り回す、引っ張る、折り曲げるなど、乱暴に扱わないでください。
 - ・エアホースおよび周辺機器の損傷や破損、本体故障などの原因となります。
- 各機器の接続方法を、間違わないでください。
 - ・誤った接続は、ケガや事故の原因となります。
- 圧縮空気は、強い圧力で吹き出すので、人や動物に向けしないでください。
 - ・ケガや事故の原因となります。



指示

- 壁や設置物から、30cm以上離して設置してください。
 - ・冷却不良を起こし、性能低下や本体故障、圧縮機の焼き付き、火災などの原因となります。
- 分電盤に一番近いコンセントを本製品単体で使用してください。
 - ・分電盤から遠く、複数の電気機器と併用して使用すると、作動不良や本体故障などの原因となります。

4.製品使用上のご注意

⚠警告



指示

- エア配管システムの接続および取り外しは、必ずタンク内圧力を0MPaにしてください。
 - ・ 接続不良を招く恐れや取り外すときに勢いよく飛び跳ねる恐れがあり、ケガや事故の原因となります。
- エアホースにキズや被覆の破れなどの損傷がある場合は、使用を中止してください。
 - ・ エアツールの作動不良や本体故障、エアホースの破裂などの原因となります。
- 移動するときは、必ずエアホースを外してください。
 - ・ エアホースおよび周辺機器の損傷や破損、本体故障などの原因となります。
- 使用中、エアホースが周囲に引っ掛かる、開閉部や可動部に挟まる、回転部に巻き込まれることがないよう、取り回しに注意してください。
 - ・ エアホースおよび周辺機器の損傷や破損、本体故障などの原因となります。
- エアプラグを確実に持ったうえで、エアソケットから取り外してください。
 - ・ エアプラグを持たない状態で取り外すと、エアホースの内圧によって、勢いよく飛んでくる恐れがあり、ケガや事故の原因となります。
- AC100V15A以上のコンセントおよび20A以上のブレーカーが設置されている電源を使用してください。
 - ・ 200Vなどの高電圧または低電圧で使用すると、本体故障や発熱、発火、火災など事故の原因となります。
- アースクリップを、アース端子またはアース線に接続してください。
 - ・ 漏電によって、感電する恐れがあります。
- 電源スイッチがONの状態、電源プラグを抜く、接続するのはやめてください。
 - ・ 正しい停止状態にならない、突然作動する恐れがあります。
- 使用中、電源コードが周囲に引っ掛かる、開閉部や可動部に挟まることがないよう、取り回しに注意してください。
 - ・ 断線や漏電、感電、火災などの原因となります。
- 使用方法を誤ると、火災や爆発が生じる恐れがあります。必ず消火器を準備してください。
 - ・ 消火器が準備できない場合は、使用しないでください。
- 保管するときは、エアホース類を取り外してください。
 - ・ ケガや事故の原因となります。

4.製品使用上のご注意

⚠警告



電源プラグを
コンセントから抜く

- 作業を中断するときや作業終了後は、電源スイッチをOFFにし、電源プラグをAC100Vコンセントから抜いてください。
 - ・突然作動する恐れがあり、ケガや事故の原因となります。
- 点検、保管するときは、電源スイッチをOFFにし、電源プラグをAC100Vコンセントから抜いてください。
 - ・突然作動する恐れがあり、ケガや事故の原因となります。
- エアホースを接続するときは、電源スイッチをOFFにし、電源プラグをAC100Vコンセントから抜いてください。
 - ・突然作動する恐れがあり、ケガや事故の原因となります。
- 停電や雷の発生時には、電源をOFFにし、電源プラグをAC100Vコンセントから抜いてください。
 - ・瞬間的な電圧低下を起こし、モーター接点から火花が発生する恐れがあり、発火や火災、爆発などの原因となります。

⚠注意



注意

- 圧縮空気には、水分が含まれています。ウォーターセパレーター（別途用意）で水分を除去し、清潔で乾燥した圧縮空気を使用してください。
 - ・水分を除去せずにエアツールを使用すると、内部の酸化によるサビの発生、本体故障の原因となります。使用後はタンク内のサビを防止し、タンク内圧力を正常に保つため、ドレンコックを開け、必ずタンク内の圧縮空気と水分を抜いてください。
- エアソケット、シールテープなどの接続に使用する関連品は、付属していません。
 - ・別途、用意してください。



禁止

- ねじ山がテーパ状のエアソケットは、無理に奥まで締め込まないでください。
 - ・ねじ山の損傷、破損、エア漏れの原因となります。
- 延長コードは使用しないでください。
 - ・本体故障や破損の原因となります。

4.製品使用上のご注意

⚠注意



禁止

- 電源タップで、受け口を増設した電源には接続しないでください。
 - ・出力数値を超え、分電盤のブレーカーが作動する恐れがあります。



指示

- エアクリーナーは、必ず取り付けてください。
 - ・圧縮機内に、塵やホコリ、粉塵などが吸入され、本体故障の原因となります。
- エアコックのねじ山には、シールテープを巻いてください。
 - ・シールテープを巻かずにエアソケットを取り付けると、圧縮空気が漏れます。
- エアコックのねじサイズに合ったエアソケットを使用してください。
 - ・ねじサイズはRc1/4が適合します。Rc1/4以外のものを使用すると、エア漏れや本体破損の原因となります。
- 定格使用時間は30分です。30分以上使用する場合は、10分以上間隔を空け、冷ました後、使用してください。
 - ・定格使用時間を超える作業は、本体故障、作業効率低下による思わぬ事故の原因となります。
- 移動するときは、運搬ハンドルを使用してください。
 - ・運搬ハンドル以外を持って移動すると、本体が倒れる恐れがあり、本体故障の原因となります。
- 通気口やモーター、電源スイッチの周辺は、定期的に掃除してください。
 - ・通気口やモーター、電源スイッチなどにホコリなどが詰まると、性能低下や本体故障、モーターの焼き付き、火災の原因となります。定期的に各部に付着しているホコリなどを圧縮空気を使用し掃除してください。

5.製品仕様

商品型番	AP041015
商品コード	2004000010159
本体サイズ	L525×W320×H580mm(ハンドル含む)
重量	20.5kg
タンク容量	24L
電動機出力	0.55kW(0.8HP)
電源	AC100V～50/60Hz
電流	5.8/7.0A(0.6MPa時)
消費電力	550/650W(0.6MPa時)
回転数	1400/1700min ⁻¹
吐出空気量	41/48L/min(0.6MPa時)
最高圧力	0.8MPa
再起動圧力	0.6MPa
安全弁作動圧力	0.88MPa
定格使用時間	30分
騒音レベル	65dB
電源コード長	2m
エアコックねじサイズ	R1/4

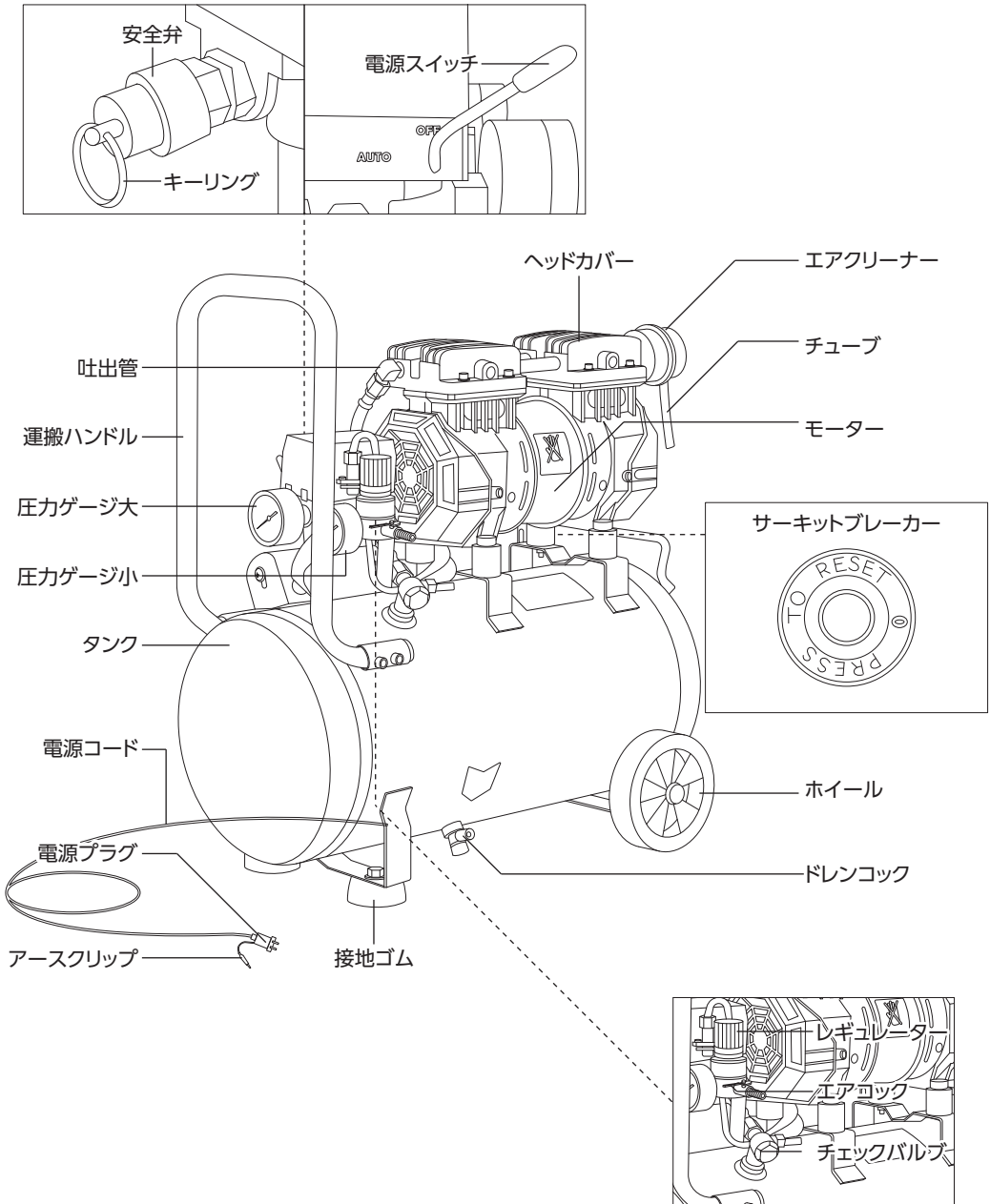
- 商品改良のため、主要機能および形状などは、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 6ヶ月保証対象製品([製品保証] 項目参照)

6.製品特徴

- ・ オイル交換の必要がなく、メンテナンスが楽なオイルレス式です。
- ・ 作動音も65dBと非常に静かで、屋内や夜間の作業も可能です。
- ・ オイルを使用しないので、圧縮空気にオイルが混入せず、クリーンなエアを供給することができます。

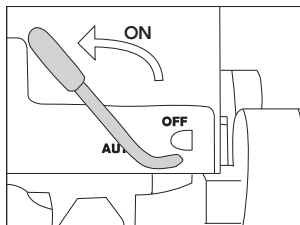
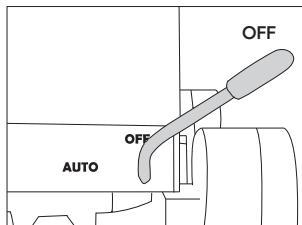
7.各部名称

各部名称



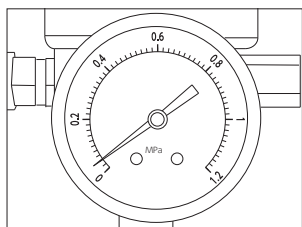
8.各部説明

電源スイッチ



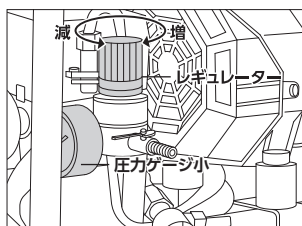
- ・ 作動、停止するためのスイッチです。
- ・ OFF : 【停止】
- ・ ON : 【作動】

圧力ゲージ大



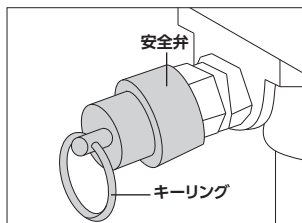
- ・ タンク内の圧力値を表示するゲージです。
- ・ タンク内圧力値の増減が目視で確認できます。
- ・ 0.8MPaでタンク内の圧縮空気が満タンとなり、0.6MPaまで下がると、再起動します。

レギュレーター



- ・ タンク内から取り出す圧力値を変更できる調節装置です。
調節圧力値を表示する圧力ゲージ付きです。
- ・ 調節範囲: 0~0.8MPa
- ・ 時計回り(+) : 増える
- ・ 反時計回り(-) : 減る
- ・ レギュレーターで調節した圧力は、圧力ゲージ小で確認できます。

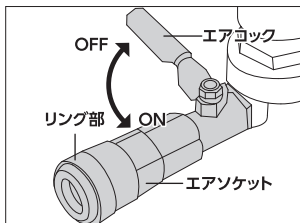
安全弁



- ・ 最高使用圧力以上になった場合、タンク内の圧力を逃がすための弁です。
- ・ タンク内圧力が0.88MPaで作動します。
- ・ 定期的にキーリングを引き、圧縮空気の放出を行い、しばらくして放出が停止することを確認してください。
※安全弁が作動すると、圧縮空気が勢いよく排出されるので顔などを近づけないでください。

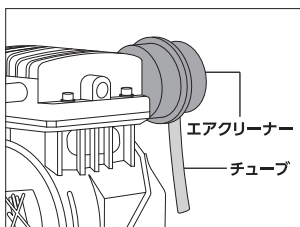
8.各部説明

エアコック



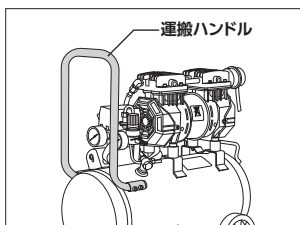
- ・エアコックは圧縮空気の流量を調節するための開閉弁です。
- ・ねじサイズがRc1/4のエアソケットを取り付けることができます。
※Rc1/4以外のものを使用すると、エア漏れや本体破損の原因となります。
- ※エアソケットを取り付けるときは、必ずシールテープを巻いてください。また、無理に奥まで締めこまないでください。
エアコックまたはレギュレーターブロックが割れる恐れがあります。

エアクリーナー



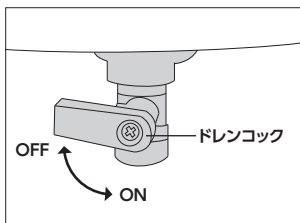
- ・空気吸入口に付いているフィルターです。
- ・空気を吸入するときの音を軽減しゴミやホコリなどの侵入を防ぎます。
※エアクリーナーを取り付けないと、本体故障の原因となるので、必ず取り付けて使用してください。

運搬ハンドル



- ・移動するときに使用するハンドルです。
- ・移動するときは、電源コードなどを持たずに、運搬ハンドルを持って、移動してください。
※移動するとき、接地ゴムを引きずると破損する恐れがあるので、必ず接地ゴム側を上げ、ホイールで移動してください。

ドレンコック



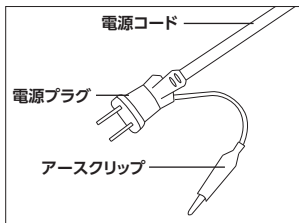
- ・タンク内の圧縮空気とドレン(水)を排出する排出口です。
- ・タンク内にドレン(水)が留まってしまうと、タンク内にサビが発生する恐れがあります。使用後は必ずタンク内の圧縮空気をすべて排出し、ドレン(水)抜きをしてください。
- ・ OFF : 閉じる
- ・ ON : 開ける

※圧縮空気とドレン(水)は勢いよく排出されるので、ONにするときは注意しながらゆっくりと操作してください。

※タンク内のドレン(水)も排出されますので、ドレンコックの下には受け皿を用意してください。

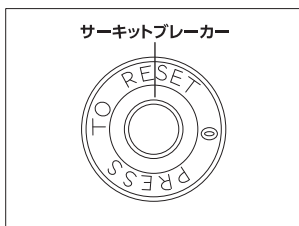
8.各部説明

電源コード、電源プラグ、アースクリップ



- ・ AC100Vコンセントに接続するコードです。アースクリップが付いています。
- ・ アースクリップをアース端子またはアース線に接続します。
- ・ 電源プラグをAC100Vコンセントに接続します。
※AC100Vコンセント以外には、使用しないでください。

サーキットブレーカー



- ・ 作業中に異常が生じた場合に、モーターを焼損から守るための保護機能です。
- ・ 電圧降下などによって、モーターに負荷がかかった場合、電源の供給を遮断します。

【原因】 延長コードを使用している。

同一のコンセントで複数の電気機器を使用している。

【状態】 サーキットブレーカーが作動すると、飛び出した状態になります。

【復旧方法】

- ①電源スイッチをOFFにし、電源コードをAC100Vコンセントから抜きます。
- ②約10～15分ほどモーターを冷まします。
- ③飛び出したサーキットブレーカーを押します。
- ④電源コードをAC100Vコンセントに接続し、電源スイッチをONIにします。

9.使用前準備

各部の取り付け

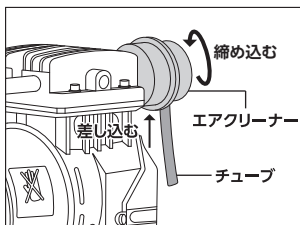
⚠警告



指示

- 各部の取り付けは、電源プラグをAC100Vコンセントから抜いて行ってください。
・突然作動する恐れがあり、ケガや事故の原因となります。

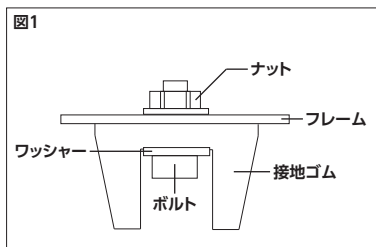
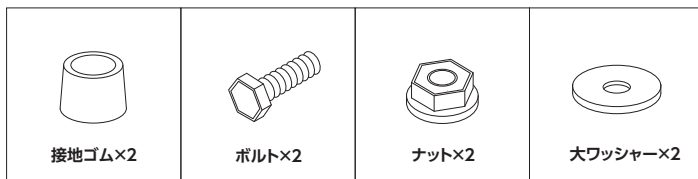
エアクリーナーの取り付け



- ①エアクリーナーを締め込んで取り付けます。
※手で締め込んでください。
- ②チューブを差し込みます。

接地ゴムの取り付け

部品

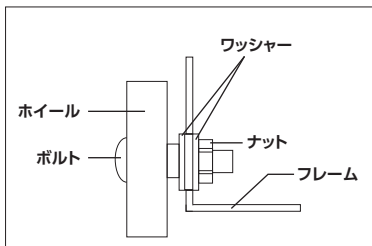
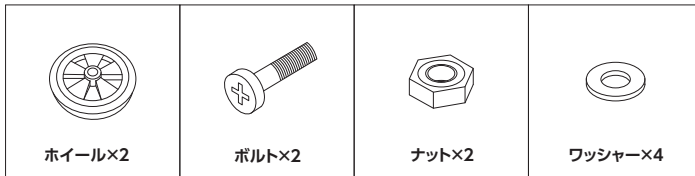


- ①接地ゴムを取り付けしやすいように、本体を少し浮かせます。
- ②左右の接地ゴムをボルト、ナット、ワッシャーで仮締めし、取り付けます(図1)。
- ③14mmソケットでボルトを押さえ、13mmレンチでナットを締め込みます。

9.使用前準備

ホイールの取り付け

部品



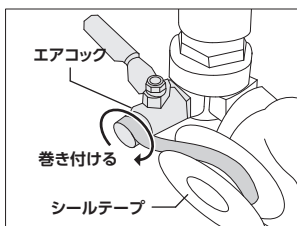
- ①ホイールを取り付けしやすいように、少し本体を浮かせます。
- ②左右のホイールをボルト、ナット、ワッシャーで仮締めし、取り付けます。
- ③17mmレンチとプラスドライバーでボルト、ナットを本締めします。

※ホイールを取り付けるきは本体を浮かせるので、倒れないよう2名で行ってください。

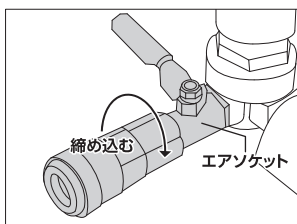
1名が本体浮かせ1名がホイールを取り付けてください。

※部品の欠品や損傷、破損などがある場合は、取り付けせずに、お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。

エアソケット(別売)の取り付け





- ①シールテープを軽く引っ張った状態で3~5回転エアコックに巻きます。



- ②エアソケットをレンチで締め込んで取り付けます。
 - ※圧縮空気が漏れる場合は古いシールテープをキレイに取り除き、巻き数を増やしてください。
 - ※エアソケット(別売)を締め込み過ぎると、エアコックが破損する恐れがあるので注意してください。



9.使用前準備

電源の確認

 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none">■延長コードは使用しないでください。<ul style="list-style-type: none">・本体故障や破損の原因となります。

- ・ 使用電源
 - ・ AC100Vコンセントを使用してください。
 - ・ AC100Vコンセントに接続するときは、必ず電源スイッチをOFFにしてください。
 - ・ 直流電源や発電機、他の電圧では使用しないでください。
 - ・ アースクリップをアース端子またはアース線に接続します。

使用前／定期点検

 警告	
 指示	<ul style="list-style-type: none">■点検は、電源プラグをAC100Vコンセントから抜いてから行ってください。<ul style="list-style-type: none">・突然作動する恐れがあり、ケガや事故の原因となります。

- ・ 故障と事故を未然に防ぎ、安全に使用するため、次の点検を設置前や使用前、定期的実施してください。

[点検項目]

- (1) 電源コードの曲がりや折れ、被覆の破れがないか
- (2) エアクリーナーの取り付け状態、詰まり、外傷などの点検
- (3) 圧縮空気の漏れ
- (4) 各部の増し締め

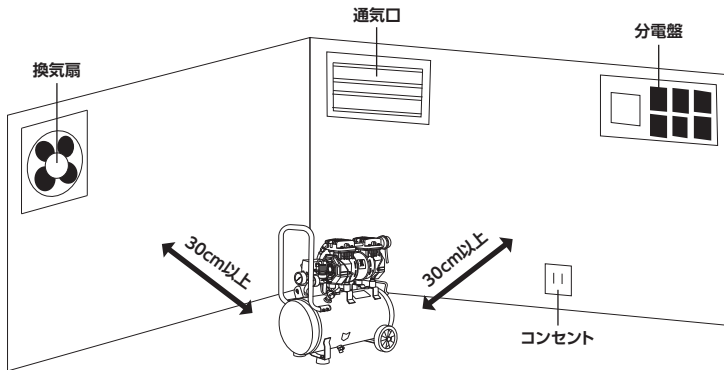
[安全弁の作動点検]

- ・ 最高使用圧力まで圧縮空気を溜め、安全弁のリングを引っ張ります。圧縮空気が放出され、しばらくして放出が停止することを確認します。

9.使用前準備

設置場所の確認

- ・ 次の場所には、設置しないでください。サビの発生、漏電、発火、火災、爆発など、本体故障や重大な事故の原因となります。
- ・ ガソリン、軽油、灯油、シンナーなどの、燃料、可燃性、揮発性の高い液体がある場所
- ・ 可燃性ガス、腐食性ガスが発生している場所
- ・ 水中や水の掛かる恐れのある場所、多湿となる恐れのある場所
- ・ 直射日光下、暖房器具、温度上昇する機器のそば
- ・ 塵やホコリがあり掃除されていない場所

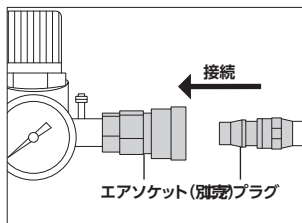


[設置場所]

- ・ 屋内で、固く平らで傾斜のない床面
- ・ 周囲に障害物がなく、整理整頓された場所
- ・ 風通しがよく、換気のできる場所
- ・ 壁から30cm以上離せる場所
- ・ 分電盤に一番近いコンセントのある場所
- ・ 設置環境温度が0℃～40℃の範囲内の場所

10.使用方法

エアホース(別売)の接続



[接続方法]

エアホースのエアプラグをエアソケット(別売)に「カチッ」と音が鳴るまで差し込み、抜けないことを確認します。

エアツールの使用

・使用目安表を参照し、エアツールを使用してください。

○:連続使用/△:断続使用

(使用エアホース:内径Φ8mm×長さ10m)

エアツール	設定圧力値	目安	備考
1/2DRエアインパクトレンチ	0.7MPa	△	
3/8DRエアラチェット	0.7MPa	△	
エアベルトサンダー	0.7MPa	△	
エアダブルアクションサンダー	0.7MPa	△	
エアリューター	0.7MPa	△	
エアソー	0.7MPa	△	
エアダスター	0.7MPa	○	
タイヤ空気入れ	0.7MPa	○	
エンジンクリーナーガン	0.7MPa	○	
エアスプレーガン 125cc	0.3MPa	○	HVLPタイプ
エアスプレーガン 400cc	0.3MPa	○	上カップ式
エアジャッキ	0.7MPa	△	2tタイプ

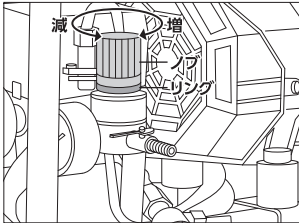
※エアツールの仕様によっては、上記に当てはまらない場合があります。

※エアホースの内径、長さによっては、上記に当てはまらない場合があります。

※設定圧力値によっては、連続使用できない場合があります。

10.使用方法

作業前の準備



- ・使用するエアツールに合わせて、レギュレーターで圧力値を調節してください。

[調節方法]

- ・時計回り(+) : 増える
- ・反時計回り(-) : 減る
- ・リングは、ノブの回り止めです。圧力調節後は、リングを反時計回りに回して締め込み、ノブを固定します。

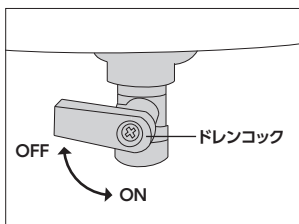
[用途別設定圧力目安表]

用途	設定圧力値
ゴムボートなど、アウトドア用品の空気入れ	0.1MPa
自動車のタイヤの空気入れ、エアブラシ	0.2MPa
自動車のタイヤの空気入れ、スプレーガンで塗装	0.3MPa
エアダスターでエアブロー、エンジンクリーナーガンで洗浄	0.4MPa
自転車のタイヤの空気入れ	0.5MPa
エアダスターでフィルター清掃	0.6MPa

※あくまで目安の値です。

※圧力の設定は、使用するエアツールに指定されている圧力に合わせてください。

ドレンコック



- ・タンク内の圧縮空気とドレン(水)を排出する排出口です。
- ・タンク内にドレン(水)が留まってしまうと、タンク内にサビが発生する恐れがあります。使用後は必ずタンク内の圧縮空気をすべて排出し、ドレン(水)抜きをしてください。
- ・ OFF : 閉じる
- ・ ON : 開ける

※圧縮空気とドレン(水)は勢いよく排出されるので、ONにするときは注意しながらゆっくりと操作してください。

※タンク内のドレン(水)も排出されますので、ドレンコックの下には受け皿を用意してください。

10.使用方法

運転

[運転手順]

- ①電源スイッチとドレンコックをOFFにします。
- ②エアホース(エアプラグ側)をエアソケット(別売)に接続します。
- ③電源プラグをAC100Vコンセントに接続します。
- ④電源スイッチをONにします。
- ⑤最高圧力が0.8MPaに達すると、自動的に運転が停止します。
- ⑥使用圧力が0.6MPaまで下がると再起動し、最高圧力が0.8MPaに達すると停止します。
- ⑦使用後は電源スイッチOFF ⇒ 電源プラグをAC100Vコンセントから抜く ⇒ ドレンコックをONにし、タンク内の圧縮空気と水分を排出します。

[定格使用時間]

- ・ 定格使用時間は30分です。30分ごとに10分以上使用を中止し、手で触れてモーターが冷めていることを確認してから、使用を再開してください。

11.メンテナンス

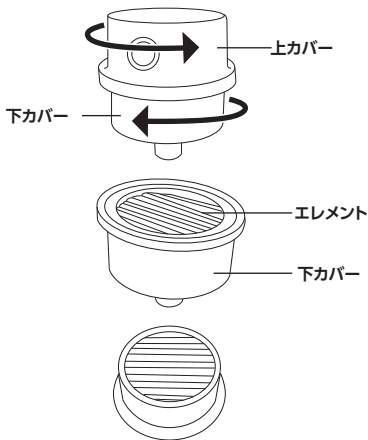
エアクリーナー

⚠警告



指示

- メンテナンスの際は、電源プラグをAC100Vコンセントから抜いてから行ってください。
・突然作動する恐れがあり、ケガや事故の原因となります。



ブローガンのノズルをエレメントに当ててエアブローしないでください。
エレメントが破損する恐れがあります。

- ・ エアクリーナーは定期的に清掃してください。
エアクリーナーは汚れが溜まりやすく、目詰まりを起こすことがあります。
- ・ 目詰まりを起こすと、圧力が上昇しない原因となります。

[清掃方法]

- ①エアクリーナーを本体から外し、チューブを抜きます。
- ②上下カバーを反時計回りに方向に回し分割します。
- ③エレメントを取り出し、付着しているゴミやホコリなどを圧縮空気を使用しエアブローします。
- ④エレメントを元に戻し、上下カバーを合わせ時計回り方向に回します。
- ⑤エアクリーナーを本体に取り付け、チューブを差し込みます。

清掃

⚠警告



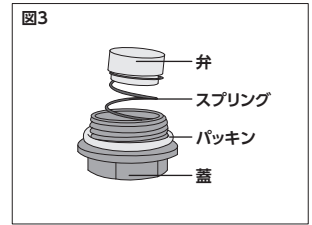
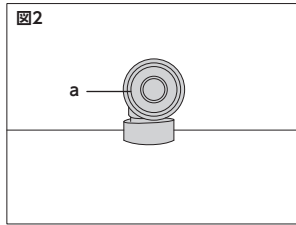
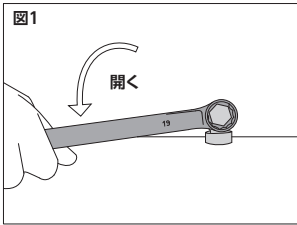
指示

- 圧縮空気エアブローするときには、必ず保護メガネ、防塵マスクを着用してください。
・ゴミやホコリが目や口に入ると、失明や健康障害の恐れがあります。

- ・ 使用後や保管のときは、本体をきれいに清掃してください。
- ・ 通気口やモーター、電源スイッチなどに付着したゴミやホコリなどは、圧縮空気を使用しエアブローしてください。
- ・ 本体の汚れは、水気を含んだ布を硬く絞って拭き取ってください。汚れが落ちないときは、中性洗剤を含ませた布を硬く絞って拭き取ります。
- ・ シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品は、プラスチック部分を損傷させるので、使用しないでください。

11.メンテナンス

チェックバルブの清掃



- ・ チェックバルブは定期的に清掃してください。
- ・ チェックバルブが汚れていると、自動停止後に電源スイッチ横の圧抜きバルブからエアが漏れ続けてしまう症状や再起動しない症状が発生することがあります。

[清掃方法]

- ①タンク内の圧縮空気を全て排出します。

※圧縮空気を排出せずにチェックバルブを触ることは大変危険です。絶対におやめください。

- ②チェックバルブを開きます。
- ③本体側の図2-aと図3の蓋側の弁についたゴミやホコリなどをウエスで拭き取ります。
- ④蓋にパッキンが付いていることを確認し、スプリング、弁を正しい順番と方向で取り付け、蓋をしっかりと閉めてください。

12.トラブルシューティング

- 解決方法を試しても症状が改善されない、また下記以外の症状が発生したときは、お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。

症状	原因	解決方法
起動しないまたは再起動しない	電源プラグが抜けている	AC100Vコンセントに、接続してください。
	電源スイッチが、OFFになっている。	電源スイッチをONIにしてください。
	分電盤のブレーカーが、OFFになっている。	分電盤のブレーカーをONIにしてください。
	チェックバルブの汚れ	チェックバルブの清掃。(P26参照)
	タンク内圧力が、再起動圧力(0.6MPa)以上になっている。	異常ではありませんので、そのまま使用してください。
	延長コードの使用による電圧低下	延長コードの使用をやめてください。
	AC100Vコンセントを複数の電気機器で使用している。	AC100Vコンセントを本製品単体で使用してください。
	電動スイッチの故障	お買い求めの販売店またはカスタマーサービスに問い合わせください。
	モーターの不良	お買い求めの販売店またはカスタマーサービスに問い合わせください。
モーターが回り続ける	ドレンコックがONになっている。	ドレンコックをOFFにしてください。
	エアクリーナーが汚れている。	エアクリーナーを清掃または交換する。
使用していないのに、勝手に作動する ※電源スイッチON時	エアが漏れて再起動した。	エア漏れ箇所を特定し、シールテープを巻き直すか、お買い求めの販売店またはカスタマーサービスに問い合わせください。
	圧縮空気の温度が下がり、圧力が低下した。	異常ではありませんので、そのまま使用してください。
作動音が大きくなった	エアクリーナーが付いていないまたは破損している。	エアクリーナーを取り付けるまたは交換してください。

13.保管

保管条件

- 次の保管条件に従い、正しく保管してください。
 - ・電源スイッチをOFFにする
 - ・電源プラグをAC100Vコンセントから抜く
 - ・タンク内の圧縮空気をすべて排出する
 - ・エアホースを取り外す
 - ・燃料やオイルなどの石油製品を付着させない
 - ・損傷や破損がある場合は、保管しない
 - ・子供や幼児を近づけない

保管場所

- 次の場所には、保管しないでください。
 - ・高温、多湿、結露する場所
 - ・塵やホコリがあり清掃されていない場所
 - ・車内、不安定な棚、大型機械の隣、車道のそばなど、振動が発生する場所やその付近
 - ・施錠のできない場所

故障について

- 故障と思われる場合は、お買い求めの販売店またはカスタマーサービスまで問い合わせください。

14.廃棄について

- 本製品を廃棄する場合は、お住まいの各自治体のゴミ廃棄方法に従って、廃棄してください。
- 指定された廃棄方法以外で、本製品を廃棄しないでください。

15.個人情報の取り扱い

- ご提示いただいたご住所、お名前などの個人情報は、修理や相談のためのみに利用させていただきます。
- 個人情報は、適切に管理し、修理業務を委託する場合や正当な理由がある場合を除き第三者に開示、提供することはありません。

16.製品保証規定

- 保証期間内(購入後180日)に、正常な使用状態で故障が発生した場合に、当社の責任において無償で修理、交換することを約束するものです。保証は、購入レシートまたは納品書、および製品保証書をお買い求めの販売店へ提示してください。

- (1) 製品の保証期間は、購入後180日です。
- (2) 正常な使用状態にて故障した場合は、当社の責任において無償で修理、交換します。
- (3) 本保証は当該製品単体の保証を意味します。製品の故障および損傷によって発生する損害は、保証対象には含まれません。
- (4) 本保証は、日本国内においてのみ有効です。海外で発生した故障、および損傷に関しては、保証対象には含まれません。
- (5) 保証の可否は当社が判定します。
- (6) 購入日の確認ができない場合は、有償修理として受け付けます。
- (7) 製品保証は当社および正規販売店で販売した商品のみに有効です。
- (8) 二次的に発生する損失の補償、および次に該当する場合は保証対象には含まれません。

- ・使用上の誤り、保守点検、保管などの義務を怠ったために発生した故障および損傷
- ・製品の作動機構に悪影響をおよぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障および損傷
- ・消耗品が損傷し、取り替えを要する場合
- ・地震、火災、風害その他天災地変など、外部に要因がある故障および損傷
- ・当社および正規販売店発行の購入レシートまたは納品書、および製品保証書の提示がない場合
- ・取り扱い店以外での修理による故障、修理後の使用においての故障
- ・購入後の輸送や移動時の落下や衝撃による故障および損傷

17.修理規定

- 製品保証規定に該当しない場合は、有償修理となり、次の修理規定が適用されます。
- (1) 製品保証規定に該当しない修理は、すべて有償修理となります。
 - (2) 当社以外で、分解、修理、改造、調整などが施されている製品は、修理対象外となります。
 - (3) 修理は、当社および正規販売店で販売した製品に限ります。
 - (4) 修理期間中に、お客様側で生じた傷害や損害に関しては、当社では一切の保証並びに責務を負いかねます。
 - (5) 修理期間中の、代替品の貸し出しはいたしません。
 - (6) 当社で修理不可能と判断した製品は、修理に応じかねる場合があります。
 - (7) 修理完了後、同一現象で同一箇所の原因によって再修理が必要と当社が認めた場合は修理完了日から90日以内にて無償で再修理を行います。

18.お問い合わせ先

カスタマーサービス

故障と思われるときや商品についての問い合わせは、カスタマーサービスまでご連絡ください。

048-501-7873

[受付時間] 平日9:00~18:00

[ホームページ] <https://www.astro-p.co.jp>

販売元

株式会社 ワールドツール

〒369-1106 埼玉県深谷市白草台2909-50

※住所、電話番号、受付時間が、予告なく変更になることがありますので、ご了承ください。

※上記電話番号が利用できない場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

(2025年10月)

